

2025 年 8 月作品

青野正宏

手の上に伝笑鳩を

ぼくらはみんな 生きている 生きているから笑うんだ
ぼくらはみんな ジョーク好き だからサロンを開くんだ
手の上で伝笑鳩見れば そこには流れる皆のジョーク
快鳥だって金鳥だって 変集鳥だって
みんなみんな ジョーク好きだ ともだちなんだ

わたしらみんな 生きている 生きているから笑うんだ
わたしらみんな ジョーク好き ジョーク好きだから作るんだ
手の上で伝笑鳩見れば そこには流れる皆のジョーク
マジコだってコユリだって タエコだって
みんなみんな ジョーク好きだ ともだちなんだ

乞容赦 字余り・字足らずあり

新作百人一首替え歌 その 6(35-39)

古漬けはうまいのだけれど臭いのだよな

人はいさ 味をも知らず 古漬けは 鼻をつまむも まだにほひける

35 人はいさ心も知らずふるさは 花ぞ昔の香ににほひける

徹夜で飲んだからまだ酔っているよ 家に帰るわけにはいかないから どこかのホテルで仮眠しよう
徹夜のみ まだ酔いながら 明けぬるを 町のいずこで 今日宿るらむ

36 夏の夜はまだ宵ながら明けぬるを 雲のいづこに月宿るらむ

おい実力もないのにそんな無理な挑戦するな ああやっぱり玉碎したか
白けるな 無理な挑戦 飽きもせず 貫き通し 玉と散りける

37 白露に風の吹きしく秋の野は つらぬき留めぬ玉ぞ散りける

俺ももてた時代があった。もう皆忘れてる残念だな

忘らるる 身をば思はず 振り返り 人のモテキも 惜しくもあるかな

38 わすらるる みをばおもはず ちかひてし ひとのいのちの をしくもあるかな

そういうのを井戸の中の蛙というのだ

浅はかも おのれしのぐは いなにとの あまりに馬鹿か 人のうぬぼれ

39 浅茅生の小野の篠原しのぶれど あまりてなどか人の恋しき